

CONTENTS

理事長就任のごあいさつ	2
常務のつぶやき	3
特集1	
白楽荘居宅介護支援事業所とよがおか 豊ヶ丘書店街にオープン	4
特集2	
軽費老人ホームで暮らす 偕楽荘とことん探訪	6
偕楽荘ぐらしの醍醐味	8
楽しく介護予防体操	11
特集3	
新型コロナウイルス感染症対応 職員の知恵とチームワーク紹介	12
白楽荘デイサービスの取り組み	14
寄附報告	15
栄養士'sキッチン	16



表紙イラスト 白楽荘介護職員 高橋俊一郎

常務のつぶやき 日々雑感

新型コロナウイルスにより日常生活の様相がすっかりと変わってしまいました。

4月には緊急事態宣言が出され、外出自粛の要請とともにテレワークが推奨されました。私たち介護福祉事業者は、感染予防を講じて事業を安定的に持続することを東京都等からの通知により求められておりましたので、全事業を休止することなく通常通り出勤を続けていました。そのため、4月から6月にかけての変化を感じるようになりました。

まず4月から5月にかけて感じたことは街の静けさです。通勤する人が減ったことにより、駅周辺の人影が激減しました。大げさではなく駅のホームは静けさを感じるほどでした。道路も交通量は極めて少なく、仕事帰り夜9時頃には右を見ても左を見ても、人も車もないということもありました。様々なお店も閉店時間が早まり、夜は本当にひっそりとしていました。

そんな状態がしばらく続いていたのですが、6月になると街に人が戻ってきました。完全に元通りというわけではないのですが、それでもこんなに人がいたのかと思うほどには増えています。と同時に、以前とは人々の様子に違いを感じます。

まず、当たり前といえば当たり前なのですが、ほぼ全員がマスクをしています。駅のホームでも大体の人が他者との間隔をあけて電車を待っています。たった2か月の間に確実に何かが変わってきているようです。

常務理事 鶴岡 哲也

新理事長就任のごあいさつ

理事長 曾我 好男



このたび、社会福祉法人楽友会理事長に就任いたしました曾我好男でございます。

もとより微力ではございますが、法人の発展と地域社会の福祉の充実に努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、楽友会は多摩市において半世紀以上にわたって高齢者の皆様に安心して利用していただける福祉・介護サービスを提供し続けてまいりました。現在、多摩市及び隣接する八王子市にあわせて9事業所を設置運営する法人となりました。これもひとえに地域の皆様のご理解とご協力さらには行政をはじめ関係各位のご支援の賜物と深く感謝しております。

現在、地域社会の移り変わりとともに当法人の果たすべき役割も変化してきております。多くの皆様がお持ちの、「住み慣れたまちで いつまでも 安心して 暮らしたい。」という願いを少しでも実現していくために、これからの福祉・介護や医療のあり方、地域での暮らしのひとつの形として実現充実が期待されている「地域包括ケアシステム」や「地域共生社会」を担う一員として、これからは皆さまの期待と信頼にお応えできるよう、日々創意工夫に努め、よりよい福祉・介護サービスの提供に取り組んでまいります。

なお、新型コロナウイルス対策についてですが、当法人の施設利用者につきましては、これまで一人の感染者も出しておりません。感染防止のため職員一人ひとりが昼夜を問わず緊張感を持って対応しております。ご家族の皆様には、面会の制限などによりご不便をおかけいたしておりますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。今後とも、当法人に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。